

## 令和5年度 算数科 授業改善推進プラン

大田区立東調布第三小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・タブレットドリルと並行して、ノートやワークシートなどに書いてまとめる活動を行ってきた。2年生や5年生は、東京ベーシックドリルの正答率の結果にその成果が表れ、基礎的な知識・技能の定着を図ることができた。
- ・習熟度別少人数教室でも、具体物操作や算数的活動に力を入れて、思考・判断・表現の充実を図ってきたことで、「長さ、重さ」といった単元での正答率が昨年度ほど低くなく、目標値と同程度の正答率となり成果が見られた。

#### (2) 課題

- ・一部の学年では、ノートやワークシートなどに書いてまとめる活動を行っているものの、計算の途中式を書いたり、自分の言葉でまとめたりする習慣をなかなか身に付けさせることが難しく、小数や分数の計算といった基本的な計算ミスが多く、正答率の低さにつながってしまった。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	全国の平均値を 1.5割上回った。	/	/
第5学年	全国の平均値を 3.9割上回った。	全国の平均値を 3.4割上回った。 (第4学年時)	/
第6学年	全国の平均値を 2.3割上回った。	全国の平均値を 1.1割上回った。 (第5学年時)	全国の平均値を 2.8割上回った。 (第4学年時)

#### (3) 分析（観点別）

##### ① 第4学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を3.4割(約5%)上回った。設問別に見ると、かけ算の計算やわり算の式を選ぶ内容は目標値より10%以上も正答率が高かったものの、時刻と時間に関する問題では、逆に10%近く低かった。これらは、実体験を通じて感覚を身に付けることが大切な内容であり、改善が必要なことが分かった。	目標値を3.7割(約6%)上回った。設問別に見ると、m(ミリ)を使った単位換算に関する問題の正答率が10%以上低かった。これも量の感覚に関わる内容で、量をイメージする実体験や指導が大切になることが分かった。	目標値を0.4割(約1%)上回った。設問別に見ると、目標値を10%以上上回ったり下回ったりするものはなかった。「主体的に学習に取り組む態度」は、どの内容でも同程度、身に付いていると言える。

② 第5学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を10.2割(約15%)上回った。設問別に見ると、19問中13問の正答率が目標値を10%以上上回っていて、前年度と同程度に「知識・技能」はよく身に付いていると言える。	目標値を10.1割(約21%)上回った。設問別にみると、二次元表を利用して解く問題や身近にあるものの面積を推測する問題で、前年度より正答率が約10%低かった。二次元表は前年度も正答率が低く、引き続き改善が必要である。	目標値を11.3割(約21%)上回った。設問別に見ると、9問中6問の正答率が目標値を10%以上上回っていて、前年度と同程度に「主体的に学習に取り組む態度」はよく身に付いていると言える。

③ 第6学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を5.5割(約8%)上回った。設問別に見ると、20問中6問の正答率が目標値を10%以上上回っていたものの、「小数の計算」に関しては、逆に10%以上低かった。計算問題を見てみると、位に関係する計算や空位(0)のある計算に課題があることが分かった。	目標値を5.9割(約11%)上回った。前年度は目標値との乖離が+21%だったため、前年度よりは下がる傾向にあることが分かった。設問別に見ると、12問中2問の正答率が目標値を10%以上上回り、その数は少なかったものの、10%以上下回るものはなかった。	目標値を8.0割(約17%)上回った。設問別に見ると、6問中2問の正答率が目標値を10%以上上回っていて、逆に下回るものはなかった。「主体的に学習に取り組む態度」は、前年度と同程度に身に付いていると言える。

3 授業改善のポイント(観点別)

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・習熟度別少人数指導、朝の時間を使ってタブレットドリル学習に取り組むこと、たし算・ひき算を繰り返し行うこと、基礎的な力を身に付けさせていく。	・習熟度別少人数指導を行う。 ・算数的活動に力を入れて、日常生活に算数を生かす力を身に付けさせていく。 ・文章題の意味理解が出来ておらず、適切な立式ができないので、半具体物の活用や図をかくことなどでイメージしやすくさせる。	・新しい内容に出合った時や、様々な算数的活動の際に児童の反応や発言を大切にする。自分の思いを表現させる中で児童が楽しく取り組める授業づくりを心掛ける。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・単元末や学期末、学年末の全体の最後に復習する時間を設け、復習する機会を増やし、確実に基本的な力を身に付けさせていく。3年生の単元の「時刻と時間」は、学年末に必ず取り入れるようにする。	・昨年度と同様に、各単元に設定されている算数的活動に力を入れて、日常生活に算数を活かす力を身につけさせていく。	・ICT機器を用いて、身近な場面を取り入れる導入の工夫をして児童の興味を高める。 ・授業の最後にめあての振り返りを行い、学習内容の理解が深められたことへの達成感を味わわせる。

### (3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 計算問題をプリントのみならず、ノートに書かせるとともに、途中式を書かせて、子ども自身が、自分がどこで計算の間違いをしたのかを意識するように粘り強く指導する。	・ 数量関係の理解を促すため、図や数直線図の活用を行う。 ・ 身近な場面のデータを使って割合を計算させるなど、算数的活動に力を入れていく。	・ 引き続き、ICT 機器を用いて、1人1人の児童が自分に合ったペースで学習を行えるようにする。 ・ 身近な場面やデータを取り上げて算数を日常と結び付ける工夫をする。

#### 4 重点指導事項

- タブレットドリルと並行して、ノートやワークシートなどに書いてまとめる活動を行い、基礎的な知識・技能の定着を図る。(知識・技能)
- 昨年度と同様に、(半) 具体物操作や算数的活動に力を入れて、思考・判断・表現の充実を図る。  
(思考・判断・表現)
- ICT 機器を用いて、身近な場面を取り入れた導入の工夫を行い、主体的に学習に取り組む態度を引き出す。  
(主体的に学習に取り組む態度)